

# 新バスシステム事業に関する反復型意識調査結果（第2回速報値）

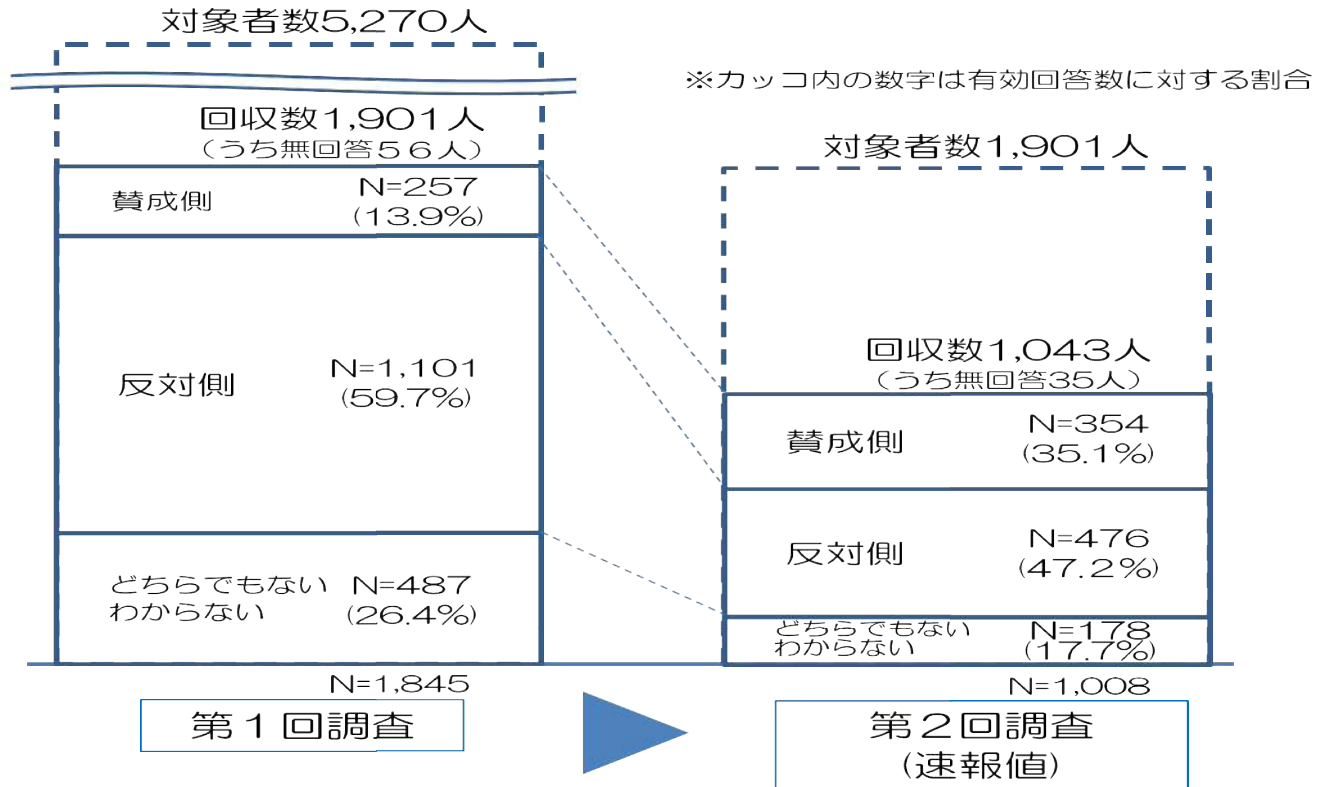
## ■集計概要

調査票発送数：1,901通（参考送付を除く）

有効回答者数：1,043人（回収率54.9%）

うち 男性513人、女性530人

## ■新バスシステム事業に関する賛否内訳



## ■新バスシステム事業の効果や期待することのうち 最も大きい理由上位5位

順位	理由	有効回答数	割合	第1回		
				有効回答数	割合	順位
1	(1) 今後もバス交通が継続していけるようになる。	119	25.5%	107	16.5%	2
2	(2) 連節バスなどにより、まちや公共交通のイメージが変わる。	81	17.4%	107	16.5%	2
3	(4) 車を使えない人や高齢者の外出する機会が増える。	76	16.3%	115	17.8%	1
4	(3) まちの活性化につながる。	41	8.8%	70	10.8%	4
5	(7) 郊外バス路線が増便される。	31	6.7%	30	4.6%	6

## ■新バスシステム事業のわからないことや反対する理由のうち 最も大きい理由上位5位

順位	理由	有効回答数	割合	第1回		
				有効回答数	割合	順位
1	(4) 新バスシステム事業よりも他に優先すべき事業がある。	145	26.4%	311	22.8%	1
2	(2) 新バスシステム事業ではまちの活性化にならない。	66	12.0%	129	9.5%	4
3	(20) 新バスシステム事業の進め方に懸念・不満がある。	44	8.0%	33	2.4%	11
4	(3) 利便性が高まるのは都心部だけであり、郊外に効果がない。	39	7.1%	171	12.5%	2
5	(6) 乗換えによる手間が増え、不便になる。	36	6.6%	81	5.9%	6